

日本学術会議 公開シンポジウム

カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用

～第2回 水素を使う～

日 時

令和8年9月1日(火) 13:00～17:00

場 所

日本学術会議講堂 (ハイブリッド開催)

定 員

会場 180名 / オンライン 500名 (先着順)

参加費

無 料 (要事前登録)

社会の喫緊の課題であるカーボンニュートラルにむけ産業界とさまざまな学術分野の連携を図り、水素利用に関する課題を明確化する。水素の利活用というテーマは非常に広い分野が関係するため、水素を「作る」「運ぶ」「使う」等のキーワードで、複数回のシンポジウムを行うことを想定している。第1回の「作る」に続き、第2回は「使う」にフォーカスして、産業界で求められている需要を共有し、水素を使う技術とその関連研究の講演と、今後の水素連携につながる議論を行う。



13:00 開催挨拶

岸本 康夫 氏 (日本学術会議第三部会員/東京大学 先端科学技術研究センター/JFEスチール研究所 主席研究員)

13:10 来賓挨拶

文部科学省 研究開発局環境エネルギー課長(予定)

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 水素・アンモニア課長(予定)

13:30 講 演

(産 業 界)

【モビリティに期待される水素を使う技術とその課題】

飯山 明裕 氏 (一般社団法人FC-Cubic理事長/山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター長)

【水素ガスタービンと水素エンジンの開発状況】

吉村 健二 氏 (川崎重工業株式会社 水素戦略本部シシクタンク部 特別主席)

【グリーンイノベーション基金事業におけるCO2低減を目的とした水素活用製鉄プロセスの開発状況】

宇治澤 優 氏 (日本製鉄株式会社 技術開発本部 技術開発企画部 研究戦略室 部長代理)

14:45 休 憩

14:55 講 演

(学 術 界)

【水素研究 × 数理科学・AI・ロボット～異分野融合と企業間協調の推進～】

一杉 太郎 氏 (日本学術会議連携会員/東京大学 大学院理学系研究科 教授)

【固体酸化物セルによる水素製造/利用の課題と展望 ～社会実装に向けた固体イオニクス研究～】

雨澤 浩史 氏 (東北大学 多元物質科学研究所 教授)

【水素環境材料開発のための水素可視化研究】

板倉 明子 氏 (日本学術会議連携会員/物質・材料研究機構 特別研究員)

【水からの水素生成制御のための光触媒設計】

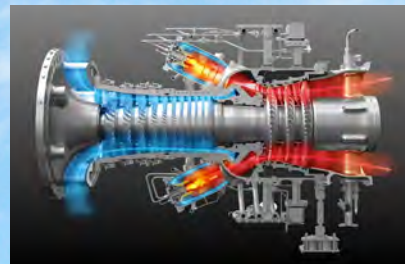
吉田 朋子 氏 (日本学術会議連携会員/名古屋大学 大学院工学研究科 教授)

16:15 パネルディスカッション:水素分野でのアカデミアの貢献とは(仮)

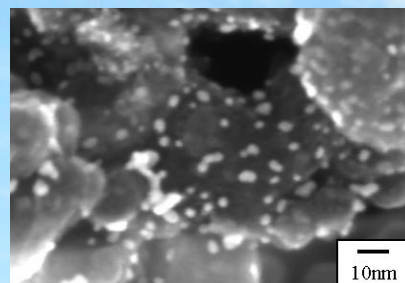
【モデレーター】

佐々木 一成 氏 (日本学術会議連携会員/九州大学 副学長・サステナブル水素研究所 主幹教授)

16:55～17:00 閉会挨拶



出典:川崎重工業株式会社



出典:九州大学

主 催: 材料工学委員会、物理学委員会、化学委員会、総合工学委員会、循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会

共 催: 日本物理学会、日本金属学会、水素エネルギー協会、水素科学技術連携研究会、物質・材料研究機構、東北大学 材料科学高等研究所、

九州大学 サステナブル水素研究所

協 賛: 応用物理学会、日本MRS、電気化学会、日本表面真空学会

後 援: 日本化学会、東京理科大学 研究推進機構総合研究院

参加申し込み: 事前に下記URLあるいは右記QRコードより、8月25日(火)までにご登録ください。

<https://forms.gle/m22CrK726Wx8g5Ap8>

お問い合わせ先: 九州大学 藤田・坂本・立川 (info@h2.kyushu-u.ac.jp)

参加登録はこちらから
8月25日(火)締切

